

2025 年 5 月

学校法人 関西大学

2024 年度の資金運用結果について

2024 年度の世界経済は、インフレの高進が収束に向かい、主要国の中央銀行において政策金利の段階的な引下げ及び金融引き締め緩和策が採られるようになるなか、好調な米国景気が牽引役となって緩やかな成長を遂げました。こうした世界経済の状況を受け、株式市場が堅調に推移し、債券市場では長期金利が上昇基調で推移する展開となりました。一方、為替市場では総じて円安圧力がかかる状況で推移しましたが、2025 年に入って円高方向に展開しました。

このような投資環境下、「2024 年度資金運用方針」に基づく資金運用に臨み、2024 年度の運用収益は 14.9 億円（有価証券利回り 1.9%、金融資産利回り 1.2%）になりました。

以下に 2024 年度における有価証券の運用結果についてご報告いたします。

1 国内債券

国内債券については、償還債券を原資に、金利動向を考慮しながら利回り確保の観点から中長期ゾーンの債券を購入してラダー型のポートフォリオを構築する計画とし、1%以上の利回りが確保できる銘柄を中心に購入しました。

国内債券による運用収益は 3.1 億円となりました。

2 外国債券

外国債券については、償還債券を原資に、金利動向、為替動向を考慮しながら利回り確保の観点から長期ゾーンの債券を購入する計画としましたが、円安の進行などにより対象となる適当な銘柄がなく購入をとりやめました。

外国債券による運用収益は 4.7 億円となりました。

3 リスク性資産

リスク性資産については、パッシブ運用、インカム型資産運用及びキャピタル型資産運用の委託運用に資金追加しました。

リスク性資産による運用収益は 6.3 億円となりました。

4 短期運用

短期運用については、短期（期間 3 ヶ月）の合同運用指定金銭信託を活用した運用を行いました。

短期運用による運用収益は 0.5 億円となりました。

5 その他

仕組債等による運用収益は 0.3 億円となりました。

以 上